

2017年度 第2回レフェリー塾のご案内

1. 目的： 関西協会および関西各府県協会所属の意欲ある審判員に対して、自主的な研修・研鑽の場を提供し、審判技術の向上、知識の充実、モチベーションの増強をはかる。
2. 参加資格： 関西協会および関西各府県協会 所属審判員 ならびに インストラクター
3. 日程： 2017年5月～2018年3月（8月を除く）、全10回 各月の第4木曜日 19:00～21:00
5/25, 6/22, 7/27, 9/28, 10/26, 11/23（以上決定）、12/28, 1/25, 2/22, 3/22（予定）
4. 会場： （大阪市内・毎回参加者にメール等で通知）

第2回 6/22(木)の会場

5月とは会場が違います！
要注意!!



大阪市中央区島之内 2-12-31 ☎ 06-6211-0630

地下鉄堺筋線・長堀鶴見緑地線 長堀橋駅 徒歩7分



5. 参加料： 通年 2,000 円 ※ユース審判員は 1,000 円
（初回参加時に徴収させていただきます）
6. 講師： （一社）関西サッカー協会審判委員会
育成部長 大歳 和法 ほか 1級審判員、各級インストラクター、各界有識者など
7. 追加申込： 途中からの参加も可能。（参加料は通年と同じ）
8. 申し込み方法： 以下の各項目を明記の上、担当大歳まで事前申し込みをして下さい。

①氏名 ②所属府県 ③審判資格(級) ④メールアドレス ⑤携帯電話番号

追加申込・その他 レフェリー塾に関するお問い合わせ 担当；大歳 ohtoshi@r3.dion.ne.jp

1回目(5月)はこんなことをしました

24名の方に参加いただきました。お仕事帰りにあしを運んでくださるその行動力に頭がさがります。競技規則2017/2018がJFAのホームページでリリースされていますよ。でも、『塾』では取り扱いません。もちろん競技規則に対する疑問があれば遠慮なく質問してくださいね。初回は1分間の自己紹介からスタート。鬼のようなタイムキーパーが1分以上しゃべらせてくれません。さて、今日のメインテーマ。芥川賞受賞小説「コンビニ人間」の冒頭部分の朗読を聞いてもらいました。情景をしっかり思い描いてもらうため読んでもらうのではなく、聞いてもらったのです。著作権の関係もありますからここへの引用は控えますが、出版社のHPから、冒頭部分が立ち読みできます。<http://books.bunshun.jp/ud/book/num/9784163906188>感想をお尋ねすると「コンビニの店員はマニュアルでしか動けないと決めつけていたけれど…」「客の細かい仕草や視線を自動的に読み取って身体は反射的に動く…」ということに関心が集中しました。『本』を読むのが苦手な人が多いけれど、『本』は、人を豊かにしてくれますよ。是非、『本』を読む習慣を…。☞「レフェリーをするうえでも、こんなことに気づけば、こんな行動が起こせる。」というテーマでグループディスカッションをしてもらいました。勿論、各グループの発表(3分)も。グループ代表の発表もみんな結構うまいと感心させられました。(大歳)

参加いただいた方からの声

レフェリー塾のよいところは、自分という一人の人間を見直せることだと思います。「なぜ、ゲームコントロールできなかったのか」というときに技術的な部分を反省することが多いのですが、普段の生活からサッカー以外の感性を上げて行くことが大切なんだ、って思わせてくれたのがレフェリー塾だと思っています。(大阪 O さん)

次回に向けて

次回は村井さんに担当いただくことにしています。テーマもお任せしていますが…。／審判の指導をもらう時に、よく聞く言葉で、???と感ずることは、ありませんか？例えば、「迷ったら出せ」何十年も前にカードを出すことを躊躇する審判員が多かった時代のはなしです。そんな言葉探してみてください。

レフェリー塾の遠足を計画

11月23日のレフェリー塾は、朝から1日遠足を企画してもらっています。内容とコースはおいしい。市村さんと巽さんに企画をお願いすることになりました。

ディスカッションで乾いたのどを潤す集まりにも時間が許せばどうぞ参加ください。さらに本音のはなしが聞けるかも。今回は11人が参加しました。